

【上映会・取材のご案内】

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2019 秋の映画祭】

**菅田将暉 初監督作品『クローバー』を特別上映、そして
ビル・スカルスガルド（『IT/イット THE END “それ”が見えたら、終わり。』）出演作品を日本初公開！**

グランプリを含む受賞作品や注目の若手俳優、アニメーター特集など30作品以上を一挙上映

トークセミナーには濱口竜介監督（『寝ても覚めても』）が登場！

東京都写真美術館ホール：10月17日（木）～20日（日）

今年21年目を迎えた米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（SSFF & ASIA）は、東京都共催、第32回東京国際映画祭との提携企画として、東京都写真美術館ホールにて10月17日（木）～20日（日）の日程で「秋の映画祭」を開催いたします。

本イベントでは、ショートフィルムの魅力を広めることと、若手映像作家の育成を目的に、今年5～6月に開催したSSFF & ASIA 2019の受賞作品を特集上映します。ジョージ・ルーカスアワード（グランプリ）を始めとする選び抜かれた作品を一早くまとめてご覧いただけるとともに、今年は**菅田将暉さんが初監督した『クローバー』を特別上映、そして『IT/イット THE END “それ”が見えたら、終わり。』のピエロ役怪演が話題を呼んだ人気急上昇中の俳優ビル・スカルスガルド出演作品『石が現れた』を日本初公開いたします。**

SSFF & ASIA 2019 秋の映画祭 注目ポイント

①**2つの特別上映作品**：話題の菅田将暉さん初監督作品『クローバー』とビル・スカルスガルド（『IT/イット THE END “それ”が見えたら、終わり。』）主演『石が現れた』日本プレミア公開

②**注目の次世代俳優作品**：次世代映画界のミュージアム柳ゆり菜さん*（『東京アディオス』）芋生悠さん*（『左様なら』）出演作品や2017年アカデミー賞受賞作『ムーンライト』の助演俳優ジャレル・ジェローム主演作品、テレビシリーズ「ウォーキング・デッド」のグレン・リー役、スティーブン・ユアン主演作品などこれからブレイク必至の役者たちの貴重な作品を公開！

★柳さんは10月17日（木）15:00～16:40の回に、芋生さんは10月18日（金）17:00～18:40の回に舞台挨拶に登場！

③**現代の社会問題にフォーカス**：環境・人種・宗教・家族・SDGs...。世界では何が起きているのか。監督の思いがストレートに語られやすいショートフィルムだからこそ描かれる、世界の様々な「今」を知るプログラム。



このほか、Netflix「13の理由」にも出演、監督にも挑戦しているマリア・デッジアが母として、妻として、女としての佇まいや感情をリアルに演じる作品など、キラリと光る女性映画人の特集、そして、才能あふれる世界のアニメーションクリエイター特集など、ショートショートならではの視点で構成した特集全6プログラム、30作品を超えるラインナップを上映します。

トークセミナーには『寝ても覚めても』が2018年カンヌ国際映画祭のコンペに入賞、317分という長編『ハッピーアワー』が国内外で注目され、ロカルノ映画祭では主演女優4名が最優秀女優賞を受賞、**ポスト黒沢清として次世代の日本映画界をけん引する濱口竜介監督に登壇**いただき、映画と時間の関係、監督が描く「生きた」映画の人物表現などの話を聞きます。

また、今回の「秋の映画祭」では、SSFF & ASIAのスタッフがプログラムや作品についての解説を行い、来場者と意見交換する機会も設けます。「監督の視点や想い、強いメッセージが描かれるのがショートフィルムの魅力。作品を見た後、各々がどう思ったかを話してみたいかならず。」と来場者との対話を期待しています。

さらに、企業がブランディングを目的として制作したブランデッドムービーを特集する「BRANDED SHORTS」では、作品の上映に加えて、国内外でのクリエイティブ事例が豊富で、カンヌライオンズや数々の国際広告祭で審査員も務めた広告業界のプロフェッショナル3名をゲストに招き、海外と進める広告制作の魅力や秘訣をたっぷり語って頂きます。



© Ryogo Shikida

トークセミナー講師：
濱口竜介監督

<お問い合わせ先> ショートショート フィルムフェスティバル アジア実行委員会担当：田中

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8 SSUビル2F TEL：03-5474-8201 E-mail：press@shortshorts.org

作品スチルダウンロード https://www.dropbox.com/sh/r8rp0nglmtts7rj/AAA_iOQE2x041EmOxIvV_68Aa?dl=0



- 期間：10月17日（木）～20日（日）
- 会場：東京都写真美術館ホール
- 主催：ショートショート フィルムフェスティバル アジア実行委員会
- 共催：東京都
- 後援：J-WAVE
- WEB：https://www.shortshorts.org/2019/autumn/
- チケット：無料
- 申込方法：優先入場の申し込みはホームページにて先着順で受け付けます。
- ※全てのプログラムで当日券をご用意しております。
- 初回上映の20分前より、当日上映する全プログラムの当日券を先着順にて配布いたします。
- ※上映日時の詳細はホームページをご参照ください
- 一般の方からの問い合わせ：03-5474-8844

上映作品のご紹介 ※全6プログラムより一部抜粋 / 全作品紹介はウェブサイトを参照ください (https://www.shortshorts.org/2019/autumn)

次世代俳優特集 ブレイク必至の俳優たち



監督：菅田将暉 主演：仲野太賀

『クローバー』(Clover)

監督：菅田将暉/47:00/日本/ドラマ/2019

サラリーマンとして日々を送るヨリモ（仲野太賀）が、上司や友人に貰ったプレゼントをきっかけに、身の回りのものを大事にすることの大切さを知る。一つ一つを愛し続けることで、自分の愛したものや人で日々が彩っていく、という温かいストーリー。



アカデミー賞受賞作『ムーンライト』の助演、ジャレル・ジェローム主演
Cinematic Tokyo部門 優秀賞（東京都知事賞）

『ロブ』(Robu)

監督：ハッサン海/19:00/日本/サイエンスフィクション/2018

父親か遺した漫画シリーズの第二巻を探しに東京まで来た17歳のアメリカ人少年ロブ。彼は東京中を探し回するうちに実は漫画の中の世界が現実で、自分が主人公であることに気づいていく。



『ウォーキング・デッド』のグレン・リー役、スティーヴン・ユアン主演
ベストアクターアワード（インターナショナル部門）受賞

『頑固者』(Naysayer)

監督：デビッド・ヘルマン/8:32/アメリカ/ドラマ/2018

まだ赤ん坊の息子から引き離された若い父親。息子の母親である元恋人が彼をSNSからブロックしていたことに気付いた時、父親は息子を連れ去ることにした。

輝く女性映画人特集 女性の視点が光る作品群

次世代映画界のミューズ 芋生 悠 主演
ベストアクトレスアワード（ジャパン部門）受賞作品
女性監督が描く女性のフェティズム！

Netflix「13の理由」出演女優マリア・ディツジア主演
ベストアクトレスアワード（インターナショナル部門）受賞作品
母として、妻として、女としての佇みや感情をリアルに表現



『ヒゲとレインコート』(Beard and Raincoat)

監督：八幡貴美/11:53/日本/ドラマ/2018

どこにでもいる普通の子供高生カナコはある日偶然にも彼の兄のヒゲに触れ、そのジロジロとした触感が忘れられなくなってしまう。しかしそのヒゲの兄もまた別のフェチを持っていた。



『向かいの窓』(The Neighbors' Window)

監督：マーシャル・カーリー/20:39/アメリカ/ドラマ/2019

幼い我が子と夫の面倒に愛想が尽きたアリーは近所に引っ越してきた20代のカップルの部屋が自宅の窓から見えることに気付く。そこからカップルの自由なライフスタイルを「裏窓」風に覗き見る日常が始まった。

世界のアニメーター特集

本年度アカデミー賞ノミネート作品、カンヌ映画祭ノミネート作品、元ピクサーのクリエイターによる作品など世界基準に日本作品も挑戦！



SSFF & ASIA 2019 ジャパン部門優秀賞(東京都知事賞) 受賞作品
【第92回アカデミー賞短編部門ノミネート候補】

『マイリトルゴート』(My Little Goat)

監督：見里朝希/10:13/日本/アニメーション/2018

オオカミに食べられてしまった子ヤギ達を胃袋から助け出すお母さんヤギ。

しかし、長男のトルクだけが見つからない！

ヒューマン作品特集

グランプリ作品が描く現代の人間模様は必見！「あなただったらどうする？」
人生に連続する「選択」を描く物語群



SSFF & ASIA 2019 ジョージ・ルーカス アワード (グランプリ)
アジア インターナショナル部門優秀賞 (東京都知事賞) 受賞作品

【第92回アカデミー賞短編部門ノミネート候補】

『見下ろすとそこに』(Down There)

監督：ツェンファン・ヤン/10:15/中国、フランス/ドラマ/2018

階下からの騒音が穏やかな夜を一変させる。冷酷で無関心な住民もいれば、迷惑そうな住民もいる。人も反応は実に様々だ。



熱き女優魂を持つ柳ゆり菜 出演 第4回ブックショートアワード受賞作品原作

『名前って、ふたつ以上の鐘の音』

(A Name: A Bell That Keeps Ringing)

監督：たかひろや/15:47/日本/ドラマ/2019

ジュリアンはフランス人の父から「 Condom 」の姓を、日本人の母から「田中」の姓を受け継いだ日仏ハーフの少年。大学生となった彼は、自分の名前が持ち合わせてしまった意味合いに葛藤していた。



日本プレミア！

ビル・スカースガルド (『IT/イット THE END “それ”が見えたら、終わり。』) 主演

『石が現れた』(A Stone Appears)

監督：Constantine Venetopoulos/11:35/アメリカ/ファンタジー/2016

同じルーティーンを無限に繰り返す男女の前にある日、石が現れる。



ディエゴ・カターニョ(『ナルコス』)、ナッシュ・エジャートン (『ザギフト』)出演
平成30年度Tokyo Cine-magic特別製作作品

『ホセのトーキョー夢物語』(Jose's Tour de Tokyo)

監督：田中希美絵/日本/15:09/コメディ/2019

SNSインフルエンサー、アレックスの番組アシスタントの仕事で初来日したメキシコ人の青年ホセ。アレックスの無茶な要求に奮闘しながら東京の街を駆け巡ったホセは、夢のような体験することになる。

社会派作品特集

ショートフィルムで世界の「今」を考える



SSFF & ASIA 2019 ノンフィクション部門 supported by ヤフー株式会社
優秀賞受賞作品【第92回アカデミー賞短編部門ノミネート候補】

『ドウルセ』(Dulce)

監督：アンジェロ・ファッチーニ & ギレ・イサ/10:30/アメリカ/ノンフィクション/2018

コロンビアの海岸沿いの村で自分の娘に泳ぎを教える母。泳ぐことを覚えれば、村の娘たちとマングローブの沼で貝を収穫することもできる。



カンヌライオンズ 2019 フィルム部門 グランプリ/フィルムクラフト部門 グランプリ

『The Truth is Worth It : Resolve (原題)』

監督: Martin + Lindsay/2:00/アメリカ/2019

広告主: The New York Times

広告会社: Droga5 New York

制作会社: Furlined



クリオ賞 2019 フィルムテクニク (オリジナルミュージック) シルバー

『The Most Vicious Cycle (原題)』

監督: Ben Smith/9:39/アメリカ/2018

広告主: March for Our Lives

広告会社: McCann New York

制作会社: Mill+

BRANDED SHORTS 2019 秋の特別セミナー「BRANDED SHORTS 海外と日本 広告最前線」

日本で唯一の国際広告祭として2016年に始まったBRANDED SHORTS。年々海外からの応募も増え、国内外からの注目も集めています。秋の特別セミナーでは、国内外でのクリエイティブ事例が豊富で、カンヌライオンズや数々の国際広告祭で審査員も務めた広告業界のプロフェッショナル3名をゲストに招き、海外と進める広告制作の魅力や秘訣をたっぷりと語って頂きます。

ゲスト:
鈴木智也 (STORIES INTERNATIONAL INC. CEO)
長谷部守彦 (株式会社博報堂 エグゼクティブクリエイティブディレクター)
ピーター・グラッセ (Mr+ Positive創業者)

日時: 10月17日 (木) 19:00~20:40
会場: 東京都写真美術館ホール
定員: 190名
チケット: 無料
申込方法: ホームページにて先着順で受け付けます

【トークセミナー】「濱口竜介監督が描き出す「生きた」映画の住人」

カンヌ国際映画祭ノミネート『寝ても覚めても』の監督が、フィクションとリアリティの向き合い方を紐解く!



© Ryogo Shioda

日時: 10月19日 (土) 15:00~16:40
会場: 東京都写真美術館
定員: 190名
チケット: 無料
申込方法: ホームページにて先着順で受け付けます。

濱口竜介監督 プロフィール

1978年、神奈川県生まれ。2008年、東京藝術大学大学院映像研究科修了制作『PASSION』が国内外の映画祭に出品され高い評価を得る。その後も、震災後の東北を写したドキュメンタリー映画『なみのおと』(2011)や『なみのこえ』『うたうひと』(2013)(共同監督: 酒井耕)、神戸を舞台にした5時間を超える長編ドラマ『ハッピーアワー』(2015)など、地域やジャンルをまたいだ精力的な制作活動を続けている。2018年、カンヌ国際映画祭コンペティション部門にも出品された最新作『寝ても覚めても』は世界各国、30以上の地域で劇場公開された。2019年からはニューヨーク、パリ、ソウル、トロント等世界中の主要都市で特集上映も開催されている。

ショートショートフィルムフェスティバル & アジアについて

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、俳優の別所哲也が、創立者となり1999年に東京・原宿で誕生し、これまでに延べ約40万人を動員。2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定され、以来グランプリ作品が翌年の米国アカデミー賞短編部門のノミネート選考対象作品となりました。2018年には映画祭の20周年を記念しグランプリ作品に「ジョージ・ルーカス アワード」の名前が付けられるようになりました。そして2019年からはオフィシャルコンペティション(インターナショナル、アジアインターナショナル、ジャパン)各部門およびノンフィクション部門の優秀賞受賞作品、最大4作品が次年度の米国アカデミー賞短編部門のノミネート選考対象作品となりました。 <https://www.shortshorts.org>

SSFF & ASIA 2019 秋の映画祭 プレスパス申請書

会場設営の都合上、誠に勝手ながら下記項目をご記入の上、FAXまたはE-mailにてご返信いただけますようお願い申し上げます。

上映プログラム : 会場受付にてパスをお渡しいたします。

※返信締切 上映日の前日までに申し込み下さい(上映プログラム・上映日時の詳細はホームページ参照)

月	日	プログラム名 :
---	---	----------

取材申請 上映プログラム : 柳ゆり菜さん登壇回

日時 : 10月17日(木) 15:00~16:40 報道受付 14:30~ 会場 : 東京都写真美術館ホール

※返信締切 10月16日(水)

取材申請 上映プログラム : 芋生悠さん登壇回

日時 : 10月18日(金) 17:00~18:40 報道受付 18:00~ 会場 : 東京都写真美術館ホール

※返信締切 10月17日(木)

取材申請 (BRANDED SHORTS 2019 秋の特別セミナー)

日時 : 10月17日(木) 19:00~20:40 報道受付 18:30~ 会場 : 東京都写真美術館ホール

※返信締切 10月16日(水)

取材申請 (濱口竜介監督トークセミナー)

日時 : 10月19日(土) 15:00~16:40 報道受付 14:30~ 会場 : 東京都写真美術館ホール

※囲み取材はございません ※返信締切 10月18日(金)

貴社名		
貴媒体名		
部署名・役職名	部署名	役職名
ご担当者名・人数	人	
TEL・FAX	TEL	FAX
E-MAIL	@	
撮影有無	<input type="checkbox"/> 有 ムービー (台) スチール (台) <input type="checkbox"/> 無	
掲載日	月	日 時 掲載またはOA予定
その他 (個別取材希望など)		

[個人情報の取り扱いについて]本イベントのご取材申込みに関する個人情報は、本イベントの出欠確認の他、同様イベント等のご案内以外には使用いたしません。

■会場のご案内

東京都写真美術館 [目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内]

JR恵比寿駅「東口」より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分 ※駐車場はございません。

<お問い合わせ先> ショートショート フィルムフェスティバル アジア実行委員会
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8 SSUビル2F 担当 : 田中
 TEL : 03-5474-8201 FAX : 03-5474-8202 E-mail : press@shortshorts.org